

厚生労働省承認 令和3年度 ^{イムス}IMS実習指導者講習会カリキュラム

教育目的:看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように必要な知識・技術を習得する

教育目標(実習指導者に期待される能力)

1. **看護実践モデル**: 学生が知識と臨床実践を統合できるように指導者として自身の看護における価値や技術及び判断を表現する力を身につける
2. **患者及び学生の安全**: 臨地実習場面において、医療の安全確保を図りつつ、学生の技術習得が最大限に行われるように配慮する能力
3. **関係調整能力**: 臨地実習が円滑に実施されることを目的に、学生を取り巻く人的環境を調整する能力
4. **看護倫理**: 看護について倫理的視点から説明でき、指導者として学生を擁護できる
5. **EBNの実践**: 根拠をもった看護が実践でき、実習指導者として学生に自らの判断と根拠を説明できる力を育成する
6. **学生の理解**: 臨地実習における学生のレディネスを把握するために、学生が受けている教育を理解し学習サポート能力を身につける
7. **教育**: 教育と実習指導に関する一般知識を備え、実習指導者として学生に対する適切な関わりができる
8. **自己研鑽**: 専門職として継続学習による能力の維持・開発に努める態度を養う
9. **応用実践力**: 学習内容をふまえた上で実習場面における効果的な指導方法を判断し、実践できる

区分	内容	科目	単位数	時間数	目標及び内容
基礎分野	教育の基盤	教育原理	1	15	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ 1)教育の本質、目的 2)教育活動の特性
		教育心理	1	15	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ 1)成長発達に伴う学習者心理の理解 2)学習過程における心理 等
		教育方法	1	15	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ 1)授業形態、教育方法及び教材の活用 2)教授－学習過程の理解 等
		教育評価	1	15	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ 1)教育評価の目的と方法 2)講義・演習・実習評価の方法 等
専門分野	看護論	看護論	1	15	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする 1)看護の機能と役割 2)看護場面と看護観の再構成 3)健康の概念と健康支援 4)倫理的課題とその対応方法 等
		看護教育課程論	1	15	看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる 1)教育課程の基礎知識 等
	実習指導の基盤	実習指導方法論(評価を含む)	2	30	実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ 1)実習指導の方法 2)実習評価の意義と方法 等
		実習指導方法演習	2	60	実習指導の展開の実際を学ぶ 1)実習指導案の作成および評価(課程別、学年別、専門領域別等) 2)実習の評価
その他	医療安全		0	2	実習が安全に行えるよう病院・施設において整えなければいけない要件(環境要因・人の特性・システム・設備)を知る 1)医療安全教育
			0	2	臨地で患者と接する学生は、感染対策を行う実行者であることを自覚し、院内感染対策の必要性を十分に理解する 2)院内感染予防教育
		その他	0	8	開講式、閉講式、各オリエンテーション
		総計	10	192	